

平成 2 4 年度以降も競争性のない随意契約とならざるを得ないもの

【様式 2】

独立行政法人家畜改良センター  
平成 2 4 年度 第 4 四半期

契約名称及び内容	契約担当官等の氏名並びに その所属する部局の名称 及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は 名称及び住所	随意契約によることとした会計規程等の 根拠規定及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職 の役員 の数	随意契約によらざる を得ない事由	備 考
該当なし										

3. 本表は、「公共調達の適正化について」(平成18年8月25日付財計第2017号)記3.の記載方法に準じて記載する。

4. 「随意契約によらざるを得ない事由」欄は、可能な限り具体的に記載する。「随意契約によらざるを得ない場合の根拠区分」欄は、別添の「随意契約事由別 類型早見表」の類型区分(1～12)の番号を記載する。

その他以下に該当する番号を記載する。

- ・緊急の必要により競争に付することができない場合「13」
- ・競争に付することが不利と認められる場合「14」
- ・秘密の保持が必要とされている場合「15」
- ・競争に付しても入札者がいないとき、又は再度の入札をしても落札者がいない場合「16」
- ・特例政令に相当する規定に該当する場合「17」
- ・国において定める随意契約の限度額を超える契約で、法人の定める限度額を下回る契約については「18」
- ・その他、類型区分に分類できないものについては「19」